

テールアルメFS [NETIS登録 QS-170 031-A]

特長

安全性を確保したまま調査、措置が可能

壁内部異常の「みえる化」 Fail Sensor 機能

安全性の維持 Fail Safe 機能

内部異常のサイン

実物写真

テールアルメの基本構造

FSコネクティブ基本構成

FSコネクティブA
FSコネクティブB
ストリップ

異常発生時のFSコネクティブ

FSコネクティブAが破断した場合
FSコネクティブBの
スライド機能により
コンクリートスキンが前に傾きます

FSコネクティブA 破断
FSコネクティブB 保持

異常発生
FSコネクティブA 破断

壁面に過剰な力が加わる
または
腐食の進行

FSコネクティブ

FSコネクティブ

異常発生時

内部異常のサイン
コンクリートスキンが傾き
異常を目視できます

スライド機能により
壁面が傾き
サインが現れる

過剰な力

平常時

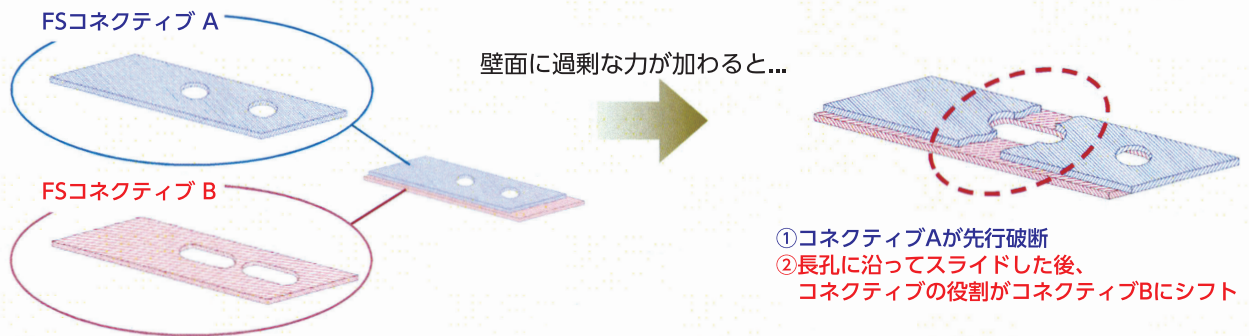
マーキング
コンクリートスキン

コンクリートスキン
ストリップ

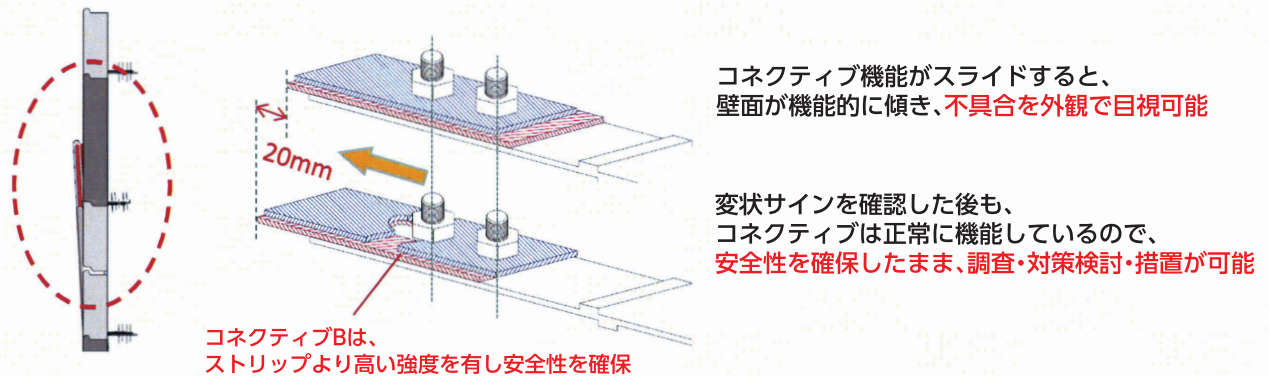
特徴

- ◆2つのFS機能（フェイルセーフ、フェイルセンサー）による維持管理
- ◆点検手法である目視確認に特化
- ◆FS機能で安全性を確保したまま調査・対策検討・措置が可能

◆安全性を維持するフェイルセーフ(Fail Safe)機能



◆内部異常を可視化するフェイルセンサー(Fail Sensor)機能



【補修の流れ、補修方法】

◆部分的な補修・交換が可能です◆

目視点検

- ・壁面の傾き及び変状サインを確認

周辺の壁面調査

- ・壁面全体を目視または測量にて調査
- ・盛土材料の採取

補修範囲及び方法の決定

- ・変状原因の特定
- ・補修範囲及び方法の選定

補修工着工

- ・壁面材交換及び打ち換え
- ・アンカー工による壁面材補強など

【コネクティブ部 再施工】



【壁面材 再施工】



パネルの取替えも簡単